

令和6年度「知」の集積による产学連携推進事業のうち バイオエコノミー推進人材活動支援事業における取組・成果概要

[代表機関名] 国立大学法人信州大学

[事業実施責任者(プロジェクトリーダー)] 國井 久美子

[研究開発プラットフォーム名] (持-09) 信州大学 食・農産業の先端学際研究開発プラットフォーム

1 概要

(1) 研究開発プラットフォームの概要

信州大学 食・農産業の先端学際研究開発プラットフォームは、農学、工学、医学、経済学を融合させて、「産学官連携・農商工連携」による革新的、発展的な研究開発活動を行い、日本の食農産業の隆盛に貢献することを目的としている。

本プラットフォームでは、ソルガムを軸として地域に根差した農業・食料・エネルギーでカスケード型脱炭素社会の実現に向けて取り組む中で、この度、国産ソルガム由来の植物性ミルクを新規に開発したところである。

(2) 本事業活用による効果

事業実施前

- シーズ発信型の商材であり、具体的にどこにニーズがあるか不明確であった。
- ソルガム及びソルガムミルクの知名度や認知度は限定的であった。
- 製品の品質改善まで検討できていなかった。



ソルガムミルク

バイオエコノミー推進人材活動支援事業

事業実施後

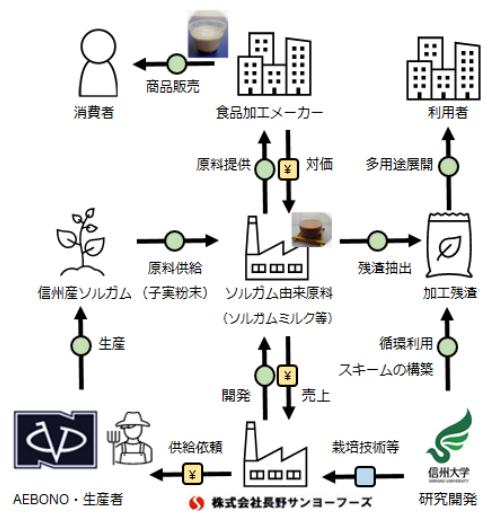
- 顧客候補との対話や市場調査(2,500名程度)が可能となり、用途や顧客層の絞り込みを行い、特定の企業群にアプローチできた。試供品の提供に興味を示した20社に対して商談を継続している。
- 成果報告会(298名参加)やソルガムマルシェなどのイベント開催、新聞やラジオでの周知活動を実施できた。特に長野市では給食等での取り扱いにより親世代の認知度が向上した。
- 口当たりに関する具体的な改善点が顧客調査より明確になった。

2 事業概要と成果

(1) ビジネスマodelの構築・検証

ソルガムミルクは、健康志向や環境意識の高まりにより急成長している植物性ミルク市場において、その希少性に加え、アレルゲンフリー、栄養価、環境負荷の低さといった優位性でも関心を集めている。しかし、サプライチェーンの大規模化ができていないことが、需要創発の律速になっている。そのため、顧客等調査及び分析を踏まえたビジネスモデルの構築の検討を行い、ビジネスモデル図等を作成した。

ビジネスモデル検証の結果、市場評価を受けた範囲はまだ限定的であるものの、機能性・希少性・ストーリー性を軸に一定の高値で取引する戦略が有利と判断された。



ビジネスモデル図

(2)事業内容や成果等の情報発信とその効果

本事業は、ソルガムを原料とした植物性ミルクの社会実装の実現に向けた取り組みとして、社会受容促進のための情報発信活動を積極的に実施した。対面での具体的な活動として、成果報告会とソルガムマルシェを開催した。これらを通じて、事業概要や試作品を参加者に共有し、ソルガムミルクの試飲アンケートにより味などの嗜好を把握することができた。そして、活動PR用冊子なども製作・配布した。一連の情報発信により、ソルガムに対する消費者の認知度向上に一定の効果が見られた。特に長野市では、給食や授業での取り扱いにより親世代の認知度が飛躍的に高まった。しかし、「入手性が悪い」、「他地域での認知が低い」といった声も挙がっている。今後の商品化・事業化にはより一層の知名度・認知度向上が不可欠であり、安定供給体制の構築と継続的・戦略的な情報発信を並行させる必要があると考えている。

3 今後の展開

この取組では、ソルガム活用の成功事例としての「長野市モデル」を全国に発信し、新しい高付加価値商品であるソルガムを原料とした植物性ミルクの社会実装とソルガムの消費拡大を目指すこととしている。

ソルガムを軸としたバイオエコノミー社会を実現するためには、ソルガムを計画的に栽培する農家と作付け面積が増えることが必須であり、そのためには、ソルガムの子実等が流通し、消費されるという構造が必要となる。特に子実の流通量の拡大は、直近の農業収入に直結するため、最重要課題といえる。今後は、関係機関の体制を強化し、地域ブランド化を図りつつ、流通量を拡大させるとともに、作付け面積を広げることで、地域の活性化や雇用の創出に取り組みたい。

以下が今後取り組むべき課題と考えており、株式会社長野サンヨーフーズが中心となり関係各所と連携して解決に務める。

- ①ソルガム子実由来原料の顧客開拓
- ②顧客候補先の整理・マッチング仲介
- ③ソルガム生産・流通体制の確立
- ④ソルガム生産・流通に関わるステークホルダーの整理・探索
- ⑤信州産ソルガムのブランド強化
- ⑥情報発信の戦略検討

問合せ先

株式会社長野サンヨーフーズ

企画開発部 企画開発課 梶下剛（せぎした つよし）

（TEL : 026-276-4161、アドレス : sekishita@nsanyo-fds.co.jp）



新聞広告



成果報告会



ソルガムマルシェ (試作品展示)



ソルガムマルシェ (出展者ブースの一例)